

有功やまぐち



Vo l. 11



山口県日赤紺綬有功会 会長

澤田 健規（澤田建設株式会社代表取締役社長）

会

員の皆様には、平素から赤十字の支援団体である当会の諸事業に多大なるご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。お蔭をもちまして、昨年度も日赤山口県支部が行う赤十字事業に対して、当会から様々な支援を行うことができました。

まず、創設から100年を迎えた青少年赤十字事業への支援として、県内すべての加盟校に対して、赤十字の教育資材を寄贈しました。萩幼稚園や野田学園幼稚園ではその教材を使って、園児に読み聞かせを行っていただいたと伺っており、人道教育に活用いただけているものと思います。

そして、今年の総会後に開催した「相続に関するセミナー」では、受講いただいた皆様に対して、遺贈などによる赤十字への支援について周知することができました。また、年末には恒例となっている「海外たすけあい」募金キャンペーンへの協力を行いました。ウクライナ人道危機に人々の関心が集まる中、アフリカの食糧危機にも焦点を当てたキャンペーンが展開されたと伺っており、当会としても飢餓に苦しむ人々に支援の気持ちを届けることが出来たと考えています。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、この3年余り行動を制限され、不便な生活を余儀なくされてきましたが、この5月より法律による制限が解除され、今後の経済活動の活性化が期待されることです。

一方、地震や大雨などの自然災害は、国内・国外を問わず毎年のように発生しています。とりわけ、先月末からの梅雨前線に伴う大雨は、山口県をはじめ、全国各地に大きな爪痕を残しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にもお見舞い申し上げます。日本赤十字社は、この度の大雨災害に際しても、救護活動を展開し、被災者に寄り添った支援をされたと伺っております。日本赤十字社の活動を支える「有功会」の会員として心強く感じているところでございます。

そんな中、当会でもできることはないかと考え、今年は、防災をテーマに講演会を実施することとしました。受講された方の命を救う一助になればと祈念しています。今後も、このように赤十字の活動を継続的に支援していきたいと考えていますので、会員の皆様におかれましても、それぞれのお立場で、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事 業 報 告

青少年赤十字加盟校へ寄贈品贈呈



当会より寄贈した“ハートラちゃんのおはなし”の主人公“ハートラちゃん”と野田幼稚園の園児たち

県内のJRC加盟園・校に対し赤十字学習用資材を寄

贈しました。幼稚園、保育園には絵本『ハートラちゃんのおはなし』、小学校にはDVD『ハートラちゃんといっしょ！「赤十字」と「青少年赤十字」』、中学校・高校にはDVD『人道法の探求』とテキスト『誰もが人間らしく生きるために』をそれぞれ寄贈しました。



絵本「ハートラちゃんのおはなし」



令和5年2月14日にJRC幼保小中会長校(湯田小学校)で行った寄贈式



萩幼稚園での読み聞かせの様子

国際活動支援



2022年2月以降、ウクライナ各地で戦闘が激化。日々、子どもを含む死傷者が多数報告され、多くの人びとがウクライナ西部及び周辺国(ポーランド・ハンガリー・スロバキア・モルドバ・ルーマニア・ロシア・ベラルーシ)やその他の国々に避難するなど極めて深刻な人道危機が起こっています。

また、アフリカでは干ばつなどの気候変動の影響やコロナ禍で悪化した社会経済状況に加えて、ウクライナ人道危機による食料供給の不安定化により食料危機が深刻となっています。これは、東アフリカが小麦の輸入の90%をロシア・ウクライナに依存していたことによります。

サハラ以南のアフリカ(サブサハラアフリカ)では日本の全人口を超える1億4,600万人もの人びとが深刻な食料不足に陥って緊急の人道支援を必要としていると、国際赤十字・赤新月社連盟により、報告されています。



海外たすけあい募金に協力してくれた野田学園幼稚園の園児たち

結 綬有功会でもこのような現状を受け、少しでも現地の助けになればと、NHK海外たすけあいに対し20,000円を寄付しました。

これは世界各国で支援を必要としている人々のために、日本赤十字社とNHKが協力して毎年12月に行う募金キャンペーンで1983年に始まって以来、これまでに世界159の国と地域に支援を届けています。

紺綬有功会主催で『遺贈・相続』セミナーを開催し、
たくさんの方にご参加いただきました。



会員の仲間づくり運動に
ご協力をお願いします

赤十字を支援する輪を広げるため、会員の皆さまには、仲間づくり運動の推進にご協力をお願いいたします。

入会資格

個人： 有功章受章（累積20万円以上の寄付）

法人： 有功章受章（累積20万円以上の寄付）

令和4年度の山口県支部

日本赤十字社山口県支部表彰式を行い、当会会員の社会福祉法人高嶺会様、宇部流通サービス株式会社様、加藤 秀憲様が表彰品を受賞されました。



青少年赤十字100周年の節目に、小学生を対象にしたリーダーシップトレーニングセンターを3年ぶりの宿泊形式で行いました。



ウクライナ人道危機や、トルコ・シリア地震など、世界中で支援が必要な状況が続いていたなか、たくさんの方から救援金をお預かりしました。



東日本大震災が起こった3月11日に山口赤十字病院、小野田赤十字病院、山口血液センター合同で、災害救護訓練を実施しました。

